



磁器片によるモザイク壁画



DATA・BOARD 54



- ① 愛媛県伊予郡砥部町大南723番地
- ② 延長36.9m, 高さ2.9m
- ③ 装飾擁壁
- ④ 磁器片

砥部町では、砥部焼伝統産業会館を中心とした施設で魅力ある観光のまちづくりをめざしており、砥部焼の里整備計画を進めている。この計画では、砥部焼を核に位置づけ、地域独自のイベントや人のふれあいを加味して町のイメージアップを図り、観光や産業の振興を進めていくとするものである。

磁器片によるモザイク壁画は、砥部町のシンボリック的存在である障子山、登り窯、煙突などを図案化し、砥部焼の磁器片を埋め込んだもので町道大谷線沿いに設置された。また、併せて陶板を敷き詰めた遊歩道の整備も行っている。

設計・施工にあたっては、各部門ごとに協力委員会、研究部会を設け、デザインや素材とする磁器片の研究を行い、砥部焼業界などの協力を得て竣工した。